

第29回Jネット勉強会

千葉県在住 藤沢勝一郎（東本町出身）

7月2日(木)午前中はあいにくの雨天、午後からの見学は雨も上がって曇天となった。

勝鬨橋の橋脚内: 見学には体力・体重・服装・人数等の条件があって、Jネット見学者は7名。

橋は昭和15年に完成し、日露戦争に勝利したのを記念し築地市場内の波除神社近くにあった「勝鬨の渡し」が名前の由来で、全長246mの鋼鉄製。1,000トン級の大型船が通れるように中央の44mが70秒でハの字形に上がる跳ね橋で、当初の開閉は1日5回、船が通る間、晴海通りは20分間交通止めになった。昭和43年までは1日3回開閉していたがその後1回となり、高度成長期の45年11月29日を最後に「開かずの橋」となった。

橋脚部には、開閉を操作するスイッチやメーターが並ぶ運転室がある。

機械室へは、3.5mの狭い垂直はしごを降り、更にコンクリート階段を10m近く降りる。ここはもう墨田川の水面下だ。1,000トンの橋げたを開閉する歯車やモーターがあり、小さな力でも開閉できる仕組みになっている。

「開かずの橋」となってから45年、今はもう設備的に動かすことは出来ないが、技術的完成度の高い構造物で、我が国の技術史上重要なものであるため、平成19年に国重要文化財に指定されており、現在も橋として立派に機能している。

築地市場: 勝鬨橋から傘をさして歩5分。橋脚内見学者と合流して、Jネット見学者は16人。

言わずと知れたわが国最大の魚市場。

場内・場外は、細い路地まで見学者でいっぱい、外人もかなり目につく。当然のことながら、水産物関係のお店が圧倒的に多かったが、乾物屋、カレー屋、牛丼店、鶏肉屋、卵焼き屋、刃物店等まであり、24時間営業の店まである。魚市場と共に歩む牛丼店大手の吉野家1号店もあって、男性店員が和風の制服で客に対応していた。

場内・場外を問わずTV等で紹介された人気すし店の前は、順番待ちの長い列が出来ている。何回か訪れたことのある人は、どのお店も美味しいが場外の方が安いとのこと。

浜離宮: 築地市場から歩5分。市場見学者16人が入場。

かつての徳川将軍家の別邸で、6代将軍家宣が植えたと伝えられる300年松や潮の干満により趣を変える「潮入りの池」、池の中心に浮かぶ「中島の御茶屋」からは絶景が望め、休憩には最高の場所となっている。松の御茶屋の欄間には鳥の透かし彫りが施され、秋冬季には池からの光の反射で、鳥が羽ばたいて飛んでいるよう壁面に投影されるという。

水上バスで浅草へ: 浜離宮内の水上バス発着場から浅草まで約50分のクルージング。

ウイークデーなので客はあまりいないが、外人客が日本人と同じくらい乗船している。

船から見る両岸の景色はすこぶる良い。

